

がんになっても安心して暮らせる社会の実現へ

1 取組みの概要

今や「がん」は、2人に1人がかかる身近な病気で、3人に1人が「がん」で亡くなると言われ、本県においても、昭和58年以降、死因の第1位は「がん」となっています。

そこで、県では、「健康やまがた安心プラン（山形県がん対策推進計画）」に基づき、「がんを知り、がんと向き合い、がんになっても安心して暮らせる社会の実現」を目指しています。

平成28年12月には「山形県誰もががんを知り、県民みんなでがんの克服を目指す条例」を制定し、県民の皆さんのがんに対する正しい理解や関心を深め、がん検診の積極的な受診を促進するために、毎年10月を「がん検診推進強化月間」に定めるなど、関係機関・団体と連携を図り、総合的ながん対策を推進しています。

具体的な取組みとしては、予防対策として喫煙対策や生活習慣改善の推進、早期発見対策として検診受診率の向上や検診の精度管理、医療対策として医療従事者の育成や緩和ケアの推進を行っています。他にも、がんの診断・治療・経過などに関する情報を収集し、保管・整理・分析する仕組みとしての「がん登録」の推進、がんに関する相談支援や教育の実施、「やまがたピンクリボンフェスタ」などを通じた乳がんの早期発見・早期治療の啓発など、社会全体のがんへの理解を深めるための取組みを行っています。

平成29年度からは「がん対策県民運動」を展開し、県民の皆さんと地域社会が一体となってがん対策を推進する環境づくりのさらなる強化を目指しています。

2 担当職員へのインタビュー

健康長寿推進課

健康づくりプロジェクト推進室

主査

木村 真由美

【採用職種：行政】



Q 現在の担当業務を教えてください

「みんなで取り組む『がん対策県民運動』」を担当しています。

具体的には、「がん」かもしれないと不安に感じた時から気軽に相談できる窓口（がん総合相談支援センター）を病院外に設置することや、家庭や仕事のことなどで忙しく自分のことは後回しになりがちな女性のがん検診を受けやすいように休日検診機会を拡大することのほか、若い方に健康意識を高めていただくためのがん予防の支援を行っています。

他にも、がんの治療により脱毛に悩む方に対する医療用ウィッグの購入費の助成を行っています。

Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

がん対策の最大目標は、がんによる死亡者を減らすことです。この難しい課題に立ち向かうため、上司に相談しながら、医療関係者や患者さんなどの声をお聞きし、事業を進めています。新しい事業を立ち上げる時は、わからないことが多く不安ですが、関係者の皆さんとひとつになって取り組むことで得られる充実感や達成感は、次の仕事への原動力となっています。

県職員の中でも、特に行政職は様々な分野の業務を担当します。未知の分野に携わることで多くの方との出会いがあり、「知る」喜びや楽しさを感じることができる、これは県職員としての魅力だと思います。

Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

県職員の仕事は、辛いことも楽しいことも様々な経験しますが、いつも傍には、信頼できる先輩や仲間がいます。

よりよい山形をつくっていくために、私たちと一緒に頑張りましょう。

いつか皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています！



【やまがたピンクリボンフェスタ開催】